

令和5年司法試験合格体験記

令和5年度在学中受験(既修コース) 藤原 新汰

令和5年度司法試験に合格しました。合格は決して一人の力ではなし得なかったと強く感じています。いつも見守ってくれて応援してくれた両親、友人、先生、実務家の先生方に、あらためてお礼申し上げます。

試験に限らず、日々の行動で大切なことは、軸を持つということにあると思います(たかだか23年と少ししか生きていない私というもおこがましいですが)。「これだけは譲れないもの」を、心の中に宿すことで、受験を決意した学部3年生の春から今日まで乗り切ることができたと思います。

私の譲れないものは、「両親と友人と法律家とは何かを教えてくださいました中原文子先生に、必ず合格の知らせを届けること」でした。思えば長い道のりでしたが、この軸を持つことで、どんなにつらいことがあっても、ぶれずにここまで来れたのだと思います。

皆様の譲れないものはなにでしょうか。もしあればそれを大切にしてください。きっと迷ったときの道しるべとなるはずです。